

令和8年 6月 8日

各関係機関の長 殿

大学共同利用機関法人人間文化研究機構  
国立民族学博物館長 關 雄二  
(公印省略)

教員の公募について（依頼）

このたび、本館では下記要領で教員を公募いたします。  
つきましては、関係各位にご周知願うとともに、適任者の応募についてお取り計らいくださいますよう、よろしくお願いいたします。

記

1. 公募人員及び職種

助教（テニュアトラック教員） 1名

2. 任期

5年（更新なし。但し、人間文化研究機構テニュアトラック制に関する規程に基づき、テニュアトラック教員（任期付常勤職）として採用後、任期満了前に公正な審査を行い、審査基準を満たした者と判断された場合には、准教授として継続雇用されます。）

※人間文化研究機構において有期労働契約を締結していたことがある者は、任期を短縮することがある。

【参照】大学共同利用機関法人人間文化研究機構の研究教育職員の任期に関する規程及び国立民族学博物館の研究教育職員の任期に関する規則

〔当館HP（採用情報）参照：<https://www.minpaku.ac.jp/offer/>〕

3. 分野

南アジア（特にトランス・ヒマラヤ地域）を対象とする文化人類学および関連諸分野（地域研究、社会学、比較文化研究、物質文化研究など）。現地の言語の運用能力があり、現地調査に基づく研究業績を有すること。また、博物館活動に関心を持つ者が望ましい。

4. 採用予定日

令和9年4月1日

5. 勤務形態

人間文化研究機構職員の勤務時間及び休暇等に関する規程による。専門業務型裁量労働制適用。

6. 給与及び手当

人間文化研究機構職員給与規程による。

7. 保険

国家公務員共済組合、雇用保険、労働者災害補償保険に加入。

## 8. 応募資格

- (1) 博士の学位を有する者。あるいは、それと同等の学力、業績を有する者。
- (2) 日本語で業務を支障なくできる者。

## 9. 選考方法

書類選考後、面接（令和8年9月上旬頃予定）を実施する。おって面接を行う者に対しては、面接の方法を含めて通知する。なお、面接のための交通費、滞在費は支給しない。

## 10. 提出書類

- (1) 国立民族学博物館教員公募申請書（別紙様式1）
- (2) 履歴書（写真貼付）（別紙様式2）
- (3) 研究業績書（別紙様式3）
- (4) 主要著書、論文（別刷又はコピー）5点以内。（博士論文を含めてもよい。）  
（日本語・英語以外の言語で書かれた業績には、日本語もしくは英語の概要を添付すること）
- (5) これまでの研究業績の概要（2,000字以内）
- (6) 今後の研究・活動計画（2,000字以内）  
（本館における研究計画について、国内外の学界や社会の動向をふまえて記載する。）
- (7) 推薦書一通（日本語あるいは英語）  
 (5)(6)(7)については様式自由。但し、A4サイズ。（別紙様式1～3については、本館HP（採用情報 <https://www.minpaku.ac.jp/offer/>）よりダウンロードして使用してください。）  
 ※提出書類に虚偽の記載が判明した場合は、採用の取り消しや採用後の懲戒解雇等の対象となる場合があります。

## 11. 締切期日

令和8年7月17日（金）17時 必着

## 12. 書類提出先

〒565-8511 吹田市千里万博公園 10-1 国立民族学博物館 公募人事選考委員会 宛  
封筒に「南アジア教員公募書類」と朱記し、書留郵便とすること。

なお、提出された書類等は原則として返却いたしません。（但し、返却を希望する場合は、その旨記載した文書を同封の上、返信用封筒に住所・氏名を記入し、切手を貼付すること。宅配便で返却する場合は、封筒に料金着払い（本人負担）のラベルを貼って同封すること。）

なお、提出書類を郵便等で送付できない場合は、ご相談ください。

※個人情報の取扱いについて

本公募に関連して提出された個人情報については、選考の目的に限って利用し、選考終了後は、採用される方の情報を除き、すべての個人情報は責任をもって破棄します。採用される方については、人事、労務、給与関係処理等採用手続き及び研究・教育等館内の各種手続きに使用させていただきますので、あらかじめご了承願います。

## 13. 問い合わせ先

国立民族学博物館 公募人事選考委員会に E-Mail にて問い合わせること。

E-Mail :kobo-jinji アット minpaku.ac.jp （アットを@に変更ください）